

2019年01月01日から2019年12月31日の間に、 川崎医科大学附属病院に入院または外来受診された方へ

—「川崎医科大学附属病院の処方薬剤数実態調査」へのご協力のお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学 総合臨床医学	准教授	桑原 篤憲
研究分担者	川崎医科大学・医学部	学長付特任准教授	庵谷 千恵子
	川崎医科大学・医学部	M2 学生	田口 悠馬

1. 研究の概要

お薬は病気を治すために必要なものです。しかし、飲んでいるお薬の数が増えると、薬による好ましくないことが起こりやすくなります。また、一人の患者さんがかかっている病気が多くなると、飲まなければならないお薬の数が増えます。一般的にはご高齢の方のほうが、若い方よりも多くのお薬を飲んでいると言われていています。また、ある大学病院に1995年から2010年まで入院したご高齢の方は、平均6から7種類のお薬を飲まれていました。

この調査では、川崎医科大学附属病院に入院または外来受診された方にどのくらいのお薬が一度に処方されたかを明らかにします。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2019年01月01日から2019年12月31日までに当院に入院または外来受診された方を対象とします。

2) 研究期間

研究期間は、倫理委員会承認日～2025年3月31日です。

なお、データ登録期間は、倫理委員会承認日から西暦2020年10月31日までです。

研究から得られた結果をまとめたのちに登録を除外することは困難です。

大変申し訳ございませんが、登録除外を希望される方は、2020年10月31日までにお申し出ください。

3) 研究方法

通常診療内ですでに得られている患者さんに関する以下のデータをもとに解析を行います。

4) 使用する試料・情報の種類

試料：この研究では使用しません。

情報：性別、年齢、入院の有無、お薬の名前と数、病名、採血結果

5) 外部への試料・情報の提供

この研究では、外部への試料・情報の提供は行いません。

6) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学総合臨床医学実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の非電子情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2020年10月31日まで、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 総合診療科

氏名：桑原 篤憲

電話：086-462-1111 内線 27515（平日：09時00分～17時00分）

ファックス：086-464-1047

E-mail：kuwabara@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。資金の受入及び使用はありません。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態などを利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。